

(済生会栗橋病院循環器科) 長嶋道貴・  
遠藤康弘・安藤園子・宇野元規

症例は63歳の男性で、完全房室ブロックと心不全を合併した急性心筋梗塞で入院となった。急性期に責任病変であった左回旋枝近位部の血栓性の閉塞病変(回旋枝優位の一枝病変)に対し経皮的冠動脈形成術を試みたが、十分な血行再建が得られなかった(TIMI II)。人工呼吸管理のもと大動脈内バルーンパンピング、一時的VVIペースング、カテコールアミンの投与を行ったが、完全房室ブロックと心不全が遷延し腎機能の悪化をきたしたため、第5病日より一時的体外式VDDペースングに切り替えたところ、著明な血行動態の改善を認めた。全身状態が安定した第7病日に左回旋枝に冠動脈内ステントを留置し、十分な血行再建が得られ、房室ブロックと心不全は速やかに改善し、第11病日に人工呼吸器より離脱した。

本例は、初期の不十分な血行再建により完全房室ブロックが遷延し、心不全が重症化した症例と考えられたが、一時的VDDペースングにより著明に血行動態を改善した。本法は急性心筋梗塞に合併した完全房室ブロックで心拍数の保たれた例の心不全の管理に有用と思われる。

高齢者に対する心臓負荷心筋シンチグラフィ—その現状と意義について—

(都立府中病院循環器科)

井口信雄・田中美佳・薄井秀美・  
和田恵理香・後藤耕介・伊原俊一・  
渡辺絵里・上田哲郎・稲葉茂樹

〔目的〕近年、高齢者に対する負荷心筋シンチグラフィの依頼件数が増加しているが、その意義や安全性についてはいまだ十分に検討されていない。当院での80歳以上の高齢者に対する負荷心筋シンチグラフィの現状とその意義について検討した。

〔対象〕1996年1月から1998年12月までに当科で負荷心筋シンチグラフィを行った80歳以上の69例。

〔結果〕80歳以上の症例は運動負荷595例中18例(3%)、ジピリダモール負荷243例中51例(20%)であった。依頼理由は非心臓手術前検査が20%を占めた。また60歳台や70歳台と比較し、運動負荷中のRPPは平均18,666と有意に低く、一方ジピリダモール負荷中の心拍数や収縮期血圧に有意差はなかった。また、経過観察が可能だった52例中、虚血あり群で3例に心事故を認め、虚血なし群では心事故はなかった。また非心臓手術の術前検査として行った症例ではい

れもシンチグラフィの結果に基づいて治療方針を選択し、心事故なく経過した。

〔まとめ〕高齢者に対する負荷心筋シンチグラフィも、特に合併症もなく安全に行われていると考えられる。特に非心臓手術前検査として必要とされる場合があるが、運動負荷よりもジピリダモール負荷の方が適していると考えられた。

カルペリチドが著効する $\alpha$ 型ヒト心房ナトリウム利尿ペプチド(hANP)が枯渇した重症僧帽弁閉鎖不全症(MR)の1例

(成人医学センター・青山病院)

坂井理映子・島本 健・楠元雅子

低用量のhANP投与が著効するMRによる慢性心不全症例を経験した。症例は77歳、男性。長年の高血圧の既往がありHHDと診断されていたが特に自覚症状はなく経過していた。66歳より呼吸苦を自覚するようになり心エコー上も心機能低下(EF 30%)、その後徐々にMRの進行を認めた。利尿剤、硝酸剤の増量にて対処されていたが、'97年より心不全の急性増悪で入退院を繰り返すようになった。硝酸剤、ドーパミン、ループ利尿剤の静注投与では明らかな心不全改善がみられず、カルペリチドの低用量投与(0.025 $\mu$ g)により利尿を得られ自覚症状およびX線所見が改善した。本症例は血中ANP 6.7mg/dlと低下しておりANP受容体のup regulationが示唆され、このため低用量のカルペリチドが著効すると考えられた。しかし低用量投与でも長期投与で利尿効果は減少し、これはANP受容体のdown regulationによるものと考えられ約1~2日の休薬で再度同様の効果を得ることができた。またこのdown regulationを予防するために様々な方法で間欠投与(100 $\mu$ g/5min~1,000 $\mu$ g/1.5hr)を行ったがいずれも効果なく、持続投与のみが有効と考えられた。カルペリチドにはcGMPを介した末梢血管拡張作用と腎血流増加による利尿作用が知られているが、本症例においては前者による前負荷軽減ではなく後者による利尿が著効したと考えられた。またhANPの分泌低下が心不全の増悪に寄与している可能性が示唆された。

高齢者におけるたこつぼ型心筋症類似の3例

(東京都老人医療センター循環器科)

久保良一・藤田直也・川口美帆

〔症例1〕76歳女性。悪寒戦慄、呼吸困難を主訴に入院。

〔症例2〕68歳女性。発熱、咳嗽、息切れで入院。

〔症例3〕76歳女性。入院中の夫の急変を聞いた後に出現した胸痛で入院。